|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| **学校経営推進費評価報告書（２年め）** |
| **１．事業計画の概要** |  |  |  |
| **学校名** | 大阪府立箕面支援学校 |
| **取り組む課題** | 児童生徒の自立支援 |
| **評価指標** | ・支援学校における地域連携と外部への情報の発信・支援学校における個々の児童生徒のライフステージに対応したキャリア教育の推進 |
| **計画名** | みのおしえん どこでもカフェプロジェクト　～屋台カフェで地域へ発信～ |
| **２．事業目標及び本年度の取組み** |  |  |  |
| **学校経営計画の****中期的目標** | 1.児童生徒の一人ひとりの教育的ニーズを踏まえた教育活動の推進（１） 就労を通じた社会的自立をはじめとする自己実現や社会参加を促進する教育の充実を図る。（３） 高等部における職業コースの充実のために、就労をめざす科目（職業・作業・実習）の関連性を明確にし、授業内容の充実を図る。（４） キャリア教育PTが関係分掌等と連携して、キャリア教育全体計画を推進し、授業内容の充実と学校全体としての一貫性のあるカリキュラム試案を作成する。 |
| **事業目標** | 移動型カフェ（屋台）での活動をとおして「作業」「給仕」に取り組み、屋上をはじめとする校内の様々な場所で、カフェを運営することにより個々の児童生徒がそれぞれのライフステージに応じた社会的自立への体験を蓄積する。更に地域の小・中学校の行事や事業所等で開催されるイベントに参加し、地域との交流を図るとともに、児童生徒においては「制作」「調理」「接客」等を体験する。また、これらの取組みを通じて箕面支援学校を地域に発信し、小・中学校の特別支援教育力の向上、障がい者理解につなげていく。これらの体験により、早期から児童生徒の「自己有用感」を高めるとともに個々の「考える力」を育成し、社会的自立をイメージする力をつけることで、高等部卒業時の就労者数と進学（大学、専門学校等）者数の増加をめざす。 |
| **整備した****設備・物品** | モバイル屋台キット(３)・屋台保護パレットシートカバー(３)・折りたたみアルミベンチ(25)・折りたたみテーブル(15)・収納台車(３)・業務用コーヒーマシン(３)・電子レジスター(１)・ユニフォーム[カフェエプロン](30)・大型クーラーBOX(１)・インバータ発電機(３)・中型物置[1370×1790×2075](３)・コーヒー豆１kg (５)信楽粘土20 kg (１)・赤信楽すいひ粘土２号20 kg (１)・黒陶土（細）20kg(１)・油滴天目釉１Ｌ(１)・柿天目釉１Ｌ(１)・白鳳マット釉１Ｌ(１)・陶芸本焼き絵の具(２)プランター(３)・ステンレス製プランターハンガー(３)・培養土[25L](３)２×４材(４)・１×４材(６)・ラワン合板[6mm](５)・コースレッド特箱[38mm](２)・コースレッド特箱[51mm](２)・コースレッド特箱[75mm](２)和紙(１)・染料(１)・画用紙[八つ切り](２)・絵の具[アクリル12色](２) |
| **取組みの****主担・実施者** | 主担： 特色創造PT（教頭・首席、各学部教諭)、キャリア教育連絡会議のメンバー(部主事（首席）、キャリア教育コーディネーター（教諭））実施者： 高等部Bグループ・Cグループ担当を中心に全校教職員 |
| **本年度の****取組内容** | * 『共同学習』
	+ カフェ（小６、中Ｂ）（小・中、総合／せいかつ、高、総合／実習／手指／職業）
	+ 買い物（小・高、家庭／職業）
	+ コミュニケーション学習（高、職業）店員／客
* 接客ロールプレイ（中、せいかつ／情報／総合高、職業、総合、手指）
* カフェ新聞（高、社会）
* 屋台装飾（小、中、総合）
* 屋台デザイン（高、造形／美術）
* 『サンプル制作』
	+ 小、コースター（小、学年活動／図工、中、総合）
	+ 菓子皿（中、つくる）
	+ ドライフラワー（中、せいかつ）
	+ 販売用お皿作り（高窯業）
* カフェ体験（豆挽き、香り、試飲等）
	+ 小、4年学年活動（香り）
	+ 中、グループタイム／総合／情報・総合（メーカー、香り、）
	+ 高、BC家庭、手指、総合、実習
* ポスター制作（中、情報・高、情報）
* 納涼大会参加（高）
* 学校運営協議会でのカフェ接客（中・高）
* 参観週間で保護者にむけてカフェオープン（小・中・高）
 |
| **成果の検証方法****と評価指標** | 1. 小・中学部：１人必ず一つの作品（ポスター、チケット等）を仕上げる。
2. 高等部：少なくとも一つの体験実習を行う（カフェ、接客、調理等）。

評価指標：* 学校教育自己診断において本校のキャリア教育への取組みに関する肯定的評価(保護者・教職員)が70%を超える。
* 保護者の参加数が50組を超える。
 |
| **自己評価** | 1. 小・中学部：１人必ず一つの作品（ポスター、チケット等）を仕上げる。

**→ 事業関連の製作、作業に全員が携わった。** （○）1. 高等部：少なくとも一つの体験実習を行う（カフェ、接客、調理等）。

**→ 年間を通じて１回以上のカフェイベントを経験した。** （○）学校運営協議会でのカフェ接客や参観週間で保護者にむけてのカフェオープン実施を通して、全校児童生徒がカフェイベントを経験した （◎）評価指標：* 学校教育自己診断において本校のキャリア教育への取組みに関する肯定的評価(保護者・教職員)が70%を超える。

→ 肯定的評価は75.1％であった。（教職員63.6％保護者86.5％） （○）* 保護者の参加数が50組を超える。

→ 参観週間で保護者にむけてのカフェオープンにおいて200組以上の来客者数であった。 （◎） |
| **次年度に向けて** | **（１）教育課程*** カフェに関する授業を、可能な限り、各教科・領域において年間指導計画に位置付け、評価を行う。

**（２）全体事業**①「校外出店」について* 各学部1回実施予定。出店場所は地域の総合保険福祉センター「ライフプラザ」が第１候補である。
* 地域の社会福祉施設開催の「レインボーカレッジフェスタ」に体験学習として参加しカフェサービスを行う。
1. 「全校カフェ交流会」について
* ２学期、３学期に１回ずつ実施する。

③「おもてなし集会」について* ２学期終業式、３学期修了式の中で実施。学部毎の取組み実践の発表などを通して、成果の共有を図る。
1. 「カフェオープン」について
* 「参観週間」等で保護者に向けて実施する。学部により取組み方に違いはあるが、３年め計画の中心的事業として位置付けている。

⑤「納涼大会」への参加について* 高等部を中心に販売チームを編成する。

**（３）教科・領域での事業*** 小学部は、２学期に学年活動や図工で、ちらし・ポスター・コースター・エプロン等の制作、接客練習などを計画している。３学期の授業参観週間で校内カフェを予定している。
* 中学部は、学年活動や教科「総合」での屋台装飾、「つくる」「生活」等での菓子皿やドライフラワー作り、「総合」を中心にしたカフェオープンなどを計画している。
* 高等部は、教科「社会」でのコーヒーやカフェに関する学習、「家庭」でのコーヒーやカフェに関連した調理実習、また、領域「実習」「生活」「手指」での接客ロールプレイ、「情報」でのポスター作り「窯業」でのお皿作りなども計画している。
* それぞれの取組みの様子を｢学校だより｣｢学校HP｣等で随時紹介し、｢実践交流会｣で発表、｢研究紀要｣に掲載する。
 |